

NPO法人 吹矢de元気!協会

理事長 山元 弘道

取材協力／障害福祉支援事業所T.H.S.RaCoo!
☐ 所在地／宮崎市高岡町花見5496-1
☐ 電話／0985-82-5809
☐ F A X／0985-33-9322
☐ U R L／<https://ths-racoo.com>



医療的ケア及び重度の 障がい児・者が自由に過ごせる場を ～ライフステージに応じた支援体制を整備～

NPO法人吹矢de元気!協会は重度の心身障がい児・者を対象に、地域に根差した多角的な福祉サービスを展開しています。運営する福祉支援事業では、利用者の年齢を問わず幅広い事業で障がい者を支え続けています。山元弘道理事長は「誰もが自分らしく、笑顔で過ごせる場所をつくりたい」という思いを胸に歩んできました。



山元理事長は東京から宮崎市に帰郷後、九州各地でプライマリーケアを軸とした健康づくりに取り組んできました。その原点は「無理なく続けられる健康法を広めたい」という思いでした。人は、生まれた瞬間に産声をあげ、人生を終えるその時まで、呼吸を続けています。普段は意識することのない「呼吸」ですが、それは生きるために欠かすことのできない、大

切な営みです。この呼吸を活かして、年齢や障がいの有無に関係なく、誰もが楽しみながら健康づくりに取り組める方法はないだろうか。そんな想いを抱き模索していた頃、北陸で歯

科医師が吹矢を活用した健康づくりに取り組んでいることを知りました。「これだ」と感じ、吹矢を取り入れた活動をスタート。その後、1998年にNPO法人吹矢de元気!協会を発足しました。

障がい福祉へと軸足を移すきっかけは、重度障がいのあるご子息の存在でした。療育の現場で目にした、福祉用具などの選択肢の少ない環境に置かれた子どもたちを見て「自由で、その人らしく過ごせる場所をつくりたい」と強く感じたそうです。さらに、デザイン性と個の尊重が両立する北欧の福祉に衝撃を受け、同じ環境を実現したいという思

いを強く抱きました。当時、宮崎県内には看護師が常駐して医療的ケアを必要とする児童を受け入れる民間施設はほとんどありませんでした。「子どもを預ける場所がない」という保護者の切実な声に応えるために2010年、宮崎市高岡町花見に看護師と保育士の計3人で重度心身障害児・者支援サビース事業所「障害福祉支援事業所(T.H.S.RaCoo)」をスタートしたのです。

専門職が連携して支援 心通わせる姿勢を大切に

事業所は現在、0歳から成人までライフステージに応じた支援体制を整えています。放課後等デイサービス、日中活動を支援する生活介護、独り立ちを手伝うグループホーム、家族の緊急時に利用できる短期入所など6事業です。看護師をはじめ保育士や理学療法士、介護福祉士など約30人の専門職が連携し、利用者が住む宮崎市、国富町、

綾町、新富町の全域での送迎もカバーしています。

大きな特徴は、職種の壁を取り払いワンチームで利用者一人ひとりに即した支援に携わっていることです。食事や入浴、レクリエーションなどの日常支援も分担しながら、言葉で伝えられない思いをくみ取るよう心掛けています。

山元理事長は、「障がいは私たちの心がつくる壁」と語ります。障がいがあるろうが、なかろうが、その人となりを受け入れ、相手の目線に立った支援対応

が行えるよう日々心がけています。

宮崎太陽銀行との付き合いは、事業所の自動車購入で親身に対応してもらって以来15年ほど。「事業所の移転、新築時にも協力してもらい、ありがたかった」と話します。

「私たちの使命は、行き場がないという悲しい思いをなくし、心からバリアフリーを実現すること」。72歳となった今も現場に立ち続ける山元理事長の視線の先には、常に障がい者の存在があるのです。

T.H.S.RaCoo!の名前には、私たちの理念が込められています。T.H.S.とは、「Total(総合的に)」「Habilitation(個々に秘めた潜在的能力を引き出すために)」「Support(最大限に支援する)」の頭文字を取ったもので、人が本来持ち合わせている能力を最大限に引き出し、生活に必要なスキルの向上を総合的に支援することを意味しています。一方、RaCoo!(ラクー)は「楽」を横文字に置き換えたもので、利用者、保護者、スタッフ、そして関係するすべての人が楽しく集い、自分の時間を大切に、安心・安全に過ごすことができる「楽園」を意味しています。私たちの施設の名前には、「人の力は無限大!」という信念が込められているのです。



担当行員からひとこと

宮崎太陽銀行 本店営業部
課長
繪柳 孝丞

事務所へお伺いすると、いつも、利用者様やそのご家族、従業員の皆様が、自分らしく、満面に笑みをたたえていらっしゃいます。

山元理事長が、障がい児・者様やその保護者様の声にしっかりと耳を傾け、親身に向き合い、そこで感じた思いを実現されていることに、大変感銘を受けております。

地域に根差した福祉サービスを展開される吹矢de元気!協会様の事業拡大のタイミングで、これまでお手伝いできたことは、地域金融機関として大変嬉しく思っております。

これからも、吹矢de元気!協会様の更なる成長段階において、少しでもお力になればと考えております。